

城崎温泉ロープウェイ 安全報告書(2017年)



城崎観光株式会社

1. 利用者の皆さまへ

城崎温泉ロープウェイをご利用いただきありがとうございます。

私どもは、法令遵守のもと、経営理念に「安全最優先」を掲げ、お客さま輸送の安全と設備保全に努めております。

本報告書は、「鉄道事業法」に基づき、お客さま輸送の安全確保、そのための取組みと実態について、皆さまにご理解を頂くために公表しております。

ロープウェイの安全輸送とサービスの向上のために皆さまからのご意見をいただければ幸いです。

城崎観光株式会社 代表取締役 橋本俊郎

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下、全職員に周知徹底しています。

- 1) 全従業員は協力して、輸送の安全確保に努めること。
- 2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 3) 常に輸送の安全に関する情報の収集と状況を理解するよう努めること。
- 4) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- 5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、的確に対処すること。
- 6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全目標

当社の中期輸送安全目標（H28年度～32年度）は①のとおりです。

また、平成29年度重点取組目標は②のとおりです。

社長以下、全職員が目標達成に向けて取り組んで参りました。

- ①定量的な目標
 - a 設備不具合による事故：乗客の死傷を伴う発生件数を「ゼロ」とする。(継続)
 - b 人身障害事故：発生件数を「ゼロ」とする。(継続)
- ②定性的な目標
 - ・若手社員の育成、スキルアップ、技術の伝承を図る。
 - ・「ヒヤリ・ハット」報告書を有効活用し、情報の共有化を図り危険箇所の排除を行う。

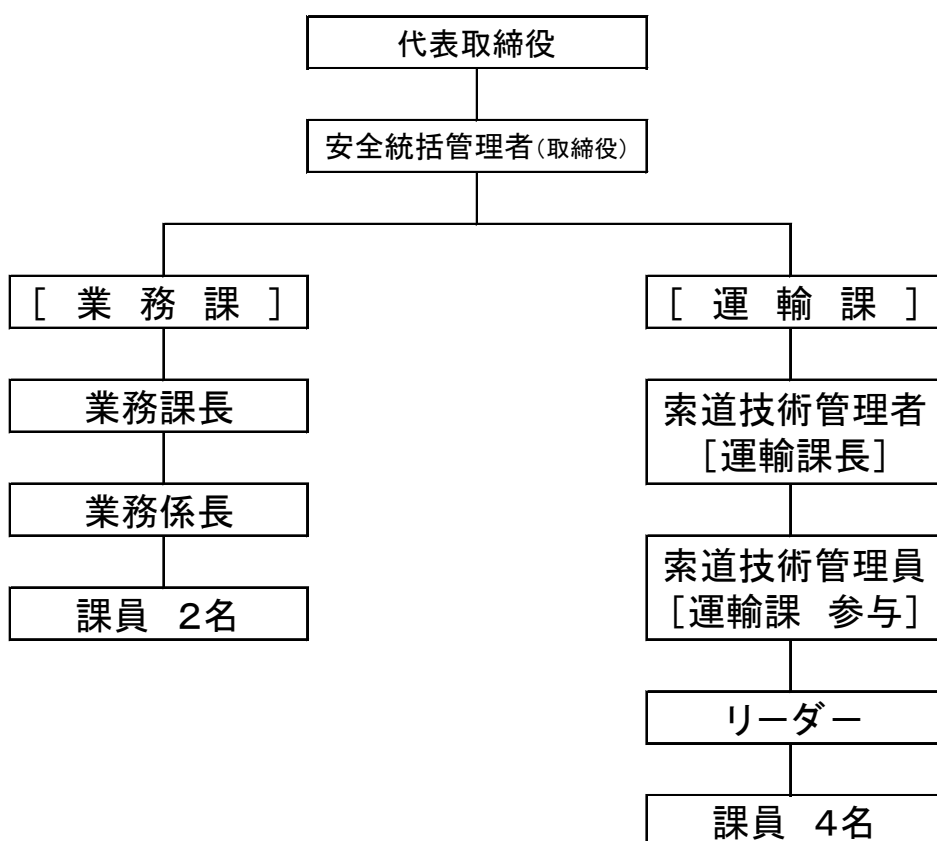
3. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

| | |
|---------------------|---|
| 代表取締役 | 輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う |
| 安全統括管理者 (取締役) | 索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する |
| 索道技術管理者 (運輸課長) | 安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する |
| 索道技術管理員 (運輸課 参与) | 索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する |

安全管理(指揮命令)体制図

(2017. 3.31 現在)



4. 事故等の発生状況

平成28年度の状況は、次表のとおりです。

| 項 目 | 発 生 状 況 |
|----------------------|--|
| 索道運転事故 (索道人身障害事故) | 発生事故無し |
| 災害 (地震や暴風雨、豪雪など) | イ、 災害（大雨・洪水警報）により、 10日（全日）運行休止 ロ、 強風・雷等により、年間24日間、 延べ26時間運行停止 |
| インシデント(事故の兆候) | 報告無し |
| 行政指導等 | 行政指導無し |

5. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、皆さまの安全や輸送に役立つよう、毎朝の営業前ミーティング等において、事故事例の周知や安全意識の醸成に努めております。

また、本年度も、運輸局主催で開催される「索道技術管理者研修会」に出席し、安全講習を受講しています。

本年は、特に若手の保守作業能力のスキルアップ、安全意識のさらなる醸成を図るべく、OJTに加え社外講師による机上の安全教育、「安全带」の点検方法、使い方の講習会、現地での昇塔訓練を重点的に実施しました。





(2) 緊急時対応

①体制の構築等

索道運転事故及び自然災害に備え、緊急時対応体制を構築しています。

また、緊急時には対策本部を設置し、緊急・応急・復旧対策に努めます。

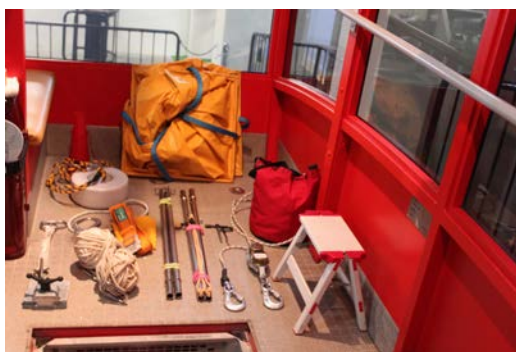
②訓練の実施

a 社内訓練

「年末年始の輸送等に関する安全総点検」等の期間を利用して、事故発生を想定した、応急下降（救助）訓練ならびに予備原動機の運転操作訓練を本年も実施しました。



○迅速にお客さまの救助・避難誘導が出来るように、救助用具を使用して、搬器からの降下救助訓練を実施しました。本年は緩降機を更新しました。



○本年度も予備原動機の運転・操作訓練を実施しました。



b 社外機関との訓練

平成28年10月27日の定休日を利用し、

「弊社 社員駐車场上空 地上高約25m付近で2号器が緊急停止」したとの状況で、全社員と豊岡消防署、城崎分署の計30人が参加し合同災害救助訓練を実施しました。

実際に弊社社員が救助袋を使用しお客さまを地上に降ろしたり、レスキ

ユー隊が救助ロープを利用し、地上から搬器に乗り込み救助に向かう訓練をしました。



③点検・検査業務

お客さまに安心してご利用頂くため、直営で日々の点検と定期検査を実施しました。

また、専門業者による隔月及び年次の高圧電気設備の点検も実施しております。

(3) 安全のための投資と支出

安全の維持向上のため、28年度は、以下の工事等を実施いたしました。

- ① 鉄塔2基のさび落とし、塗装
- ② 風向風速計の取替
- ③ 中間駅ダクト ラバーの取替
- ④ 引込高圧ケーブル張替、変圧器取替工事

(4) 安全管理の取組状況の自己チェックリストの活用

運輸安全マネジメント制度に基づき、「安全管理の取組状況の自己チェックリスト」を作成、活用することにより、安全項目の達成状況・

安全管理の取組状況の把握に努めています。

6. 利用者の皆さまとの連携とお願い

(1) お客様の声を“かたち”とするように心掛けています

当社は、お客様の期待に応えられるよう、お客様の立場に立ったサービスの提供に努めています。

皆さまからお寄せ頂いた声を真摯に受け止め、より信頼される索道事業とするために役立てさせていただきます。

27年度、お客様からの声を“かたち”にした事例をご紹介します。

<事例1>

「要望・意見」 山頂カフェの空調の効きが悪い。

「実施状況」 床据え置き型から天井カセット型に取替し、室内全体に空調が行き渡るようにしました。

<事例2>

「要望・意見」 搬器内の扇風機が小さく涼しくない。

「実施状況」 大型のものに取替、風量をアップしました。

(2) ロープウェイ乗車時のお願い

- ① ロープウェイに危険物は持ち込まないでください。
- ② ロープウェイから空き缶などを投げ捨てないでください。
- ③ 乗降車時は階段となっていますので足元に注意してください。
- ④ ご乗車の際は係員の指示に従ってください。
- ⑤ お客様の安全確保のため運行中に減速・緊急停止する場合がありますので十分注意してください。

7. ご連絡先

本報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒 669-6101

兵庫県豊岡市城崎町湯島 806-1

城崎観光株式会社

TEL : 0796-32-2530

FAX : 0796-32-2887

*受付時間 9:00~17:00 (但し、毎月第2, 4木曜日を除く)